

Henkel News Clip ヘンケルニュースクリップ 拡大版



自動車補修トレーニング&アプリケーションセンターをオープン



ヘンケルジャパン接着技術事業部門アジアパシフィック技術センター(神奈川県横浜市磯子区)に、自動車補修トレーニング&アプリケーションセンターが開設されました。“実際の自動車補修を通じて、最新のケミカルを用いた補修工法を理解いただくこと”をコンセプトとし、ヘンケルの幅広い製品ポ

トフォリオ、グローバルサポートを利用した最新の補修技術が体験できます。

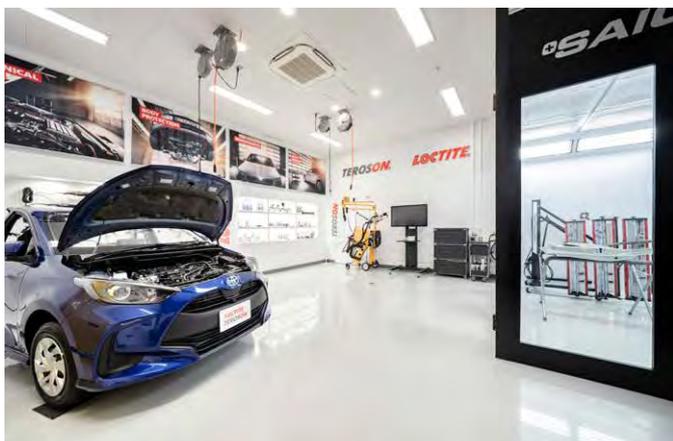
これにより、欧州や日本における自動車の新技術に対応した補修・メンテナンス工法の提供や、よりサステナブルな工法の開発を推進します。同時に、自動車メーカー様、事業者様とのパートナーシップの構築・強化を目指します。

開所式は4月5日に催され、代表取締役社長 接着技術事業部門統括本部長 浅岡聖二(右の写真中央)、同事業部門 アジアパシフィック技術センター



トレーニングセンター前でのテープカットの様子。

長 金成正夫(同左)、同事業部門 ジェネラルマニュファクチャリング&メンテナンス事業部長 池田肇(同右)によるテープカットが行われ、同事業部 自動車補修部門 営業部長 林光輝、同事業部 技術サービスグループ 自動車補修部門エンジニア 長尾博之が概要、設備説明を行いました。



センター内観。自動車のカットモデルや持ち込みパーツでのトレーニングも可能。

最新のケミカルを用いた補修工法を 実際の自動車補修を通じて紹介

センターでは、自動車補修用の LOCTITE (ロックタイト) および TEROSON (テロソン) といったヘンケルブランドの製品を取り揃え、耐衝撃性構造用接着剤、アンダーコート剤、塗布型制振材といった最新のケミカルを用いた自動車補修が体験できます。補修のソリューション提案と実際のトレーニングが同時に行えるのが特長です。

故障部分のみの補修を可能とする工法は、廃棄を減らしてサ

ステナビリティ向上に貢献します。また、補修業者様の利益の適正化や、自動車メーカー様の最新の補修方法の設計およびそれに対応した製品の量産への貢献も目指しています。



塗装ブースでは部品の仕上げ塗装、塗料の密着性試験なども行える。

President Message

社長メッセージ

スタート好調の2021年。引き続き ゲームチェンジャーでありたい

ヘンケルジャパン株式会社
代表取締役社長

浅岡 聖二



コロナ禍にも負けず、好調なスタートがされた2021年4月、トレーニングセンターを開設できたことを喜ばしく思います。

自動車産業は大きな市場です。なかでも自動車整備業界は新興国の自動車需要を受けて成長を続けており、補修技術の改善は世界の自動車整備のサステナビリティ向上に貢献します。そのため、私たちはグローバルでこの分野に注目していま

す。日本はこうしたヘンケルの成長戦略上、重要な地域です。日本企業は技術が製品開発を牽引する「テクノロジーアウト」の特徴があります。日本の各社様にはぜひ本センターを活用して自動車補修・メンテナンスにおける革新的な技術を開発・習得していただきたい。それらのテクノロジーをお互いに海外に展開し、私たちも皆様とともにさらに成長を続けたいと考えております。

接着剤事業の創設

1914 - 2021

Henkel's
history
2

ヘンケルヒストリー 第2回

洗剤の原材料から接着剤を作る実験開始 のちに世界トップシェア事業に成長

食品に貼る小さなシール、飲料缶、ペットボトルといった身の回りの品物から、自動車部品、航空機のネジの補強まで—ヘンケルのアドヒーズブ テクノロジーズ(接着技術)は、多様な用途を網羅し、接着剤の世界トップシェアを誇ります。こうしたヘンケルの接着剤事業の歴史は、20世紀の初頭に始まりました。

きっかけは第一次世界大戦(1914-1918)でした。洗剤事業を成功させていたヘンケルは、戦中戦後を通じた物不足を背景に、洗剤のパッケージを貼るための接着剤を自前で

調達すべく、開発に乗り出しました。原料は、洗剤の材料に使われていたケイ酸ナトリウムです。1914年に代替接着剤の初期テストが開始され、1922年には、ホルトハウゼンの梱包部門の建物で、自社利用分として Sula(紙接着剤)、Desula(ボード接着剤)、Buba(ポケット接着剤)、合計123トンの製造を達成。翌年に販売を開始し、1926年には初の接着剤特許を取得します。1928年からはヨーロッパ向けに輸出、1929年にオーストラリアと南アメリカにその範囲を拡大しました。



ホルトハウゼン工場の風景(1916年)。ここで1922年から、接着剤の生産が始まりました。

その後の数多くのM&Aを経て、現在、ヘンケルの工業用製品は5つのブランドで編成され、消費者およびプロユーザー向け市場では4つの世界的ブランドが展開されています。日本でも、目に見えないところでヘンケルの接着剤が人々の暮らしに貢献しています。

Henkel News Clip ヘンケルニュースクリップ



Beauty Care
ビューティーケア



「オーセンティック ビューティ コンcept(ABC)」
大阪にフラッグシップショップをオープン

ヘアサロンと百貨店でのポップアップストアで展開してきたヴィーガン処方プレミアムヘアケアブランド「ABC」が、国内初のフラッグシップショップを3月5日に大阪・大丸梅田店に開店しました。同ショップでは、ヘアサロンで講師として活躍するプロフェッショナルによるカウンセリングなども行います。最新情報は右のQRコードからインスタグラムにアクセスしてご確認ください!



Corporate
コーポレート



『第3回 WOMAN's VALUE AWARD』
ヘンケルジャパン、特別賞を受賞

多様性を重視するヘンケルジャパンは、「積極的に女性を採用し、女性が活躍できる環境がある会社」を表彰する、第3回 WOMAN's VALUE AWARD(主催:同AWARD事務局/キャリア美人株式会社、共催:総務省、後援:テレコムサービス協会)の企業部門で特別賞を受賞しました。ユニークな社内研修がアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に対応するための更なる一歩を踏み出した取り組みとして評価され、昨年の優秀賞に続く連続受賞となりました。



Henkel Person 02



ヘンケルジャパン株式会社
ジェネラルマニュファクチャリング&メンテナンス事業部
技術サービスグループ 自動車補修部門エンジニア

長尾 博之

新設のセンターから、自動車補修の情報を幅広く発信

2015年に入社し、今年4月から、新設された自動車補修トレーニング&アプリケーションセンターに所属しています。例えば電気自動車のように、新しいテクノロジーが用いられた製品については、補修方法が未確立なことがあります。そこにヘンケルの接着剤を用いて補修技術や工法をアップデートし、お客様に提案することが私の大きな役割の一つです。実地のトレーニング

に加え、修繕プロセスの動画の可能性にも着目しています。今後、動画も含めた多様なトレーニングマテリアルを提供することも目指しています。磯子の技術センターには多くの部門の社員が集っています。技術系の社員と気軽に交流できるのは大きな刺激になっています。一方で将来は、ヘンケルがグローバル企業であることを活かして、海外勤務にも挑戦したいと考えています。